

三豊市立辻小学校長の山下です。シリーズで算数教育に関する通信「山さんお記」を発行することにしました。算数指導に熱心な先生・不安な先生に読んで欲しいと思います。

第1回目は、1単位時間の展開と教材研究の視点です。教科書を片手に問題集のように解き進める授業を展開する先生ではいけません。教科書に書かれていない活動を生み出し、仕組んでいくことが、プロとしての仕事です。課題意識の高まりを大切にしながら、教科書問題の前と後を豊かにする力が必要です。

教科書の行間を読み解く

運動場に種を蒔くような授業をしない。教科書導入の導入問題を考える。

導入 …… 本時の問題（教科書問題）に **出合わせる前**の活動

- 本時の教科書問題が既習内容の発展的な問題と位置付くような活動
- 本時の教科書問題が構成されていくような活動
- 本時の教科書問題を解決することが必要となるような活動
- 本時の教科書問題を解決するための素地となるような活動
- 本時の教科書問題解決の意欲付けとなるような活動 等々

問題設定

自分で算数を創るという意識を高める。既習と同じもの、未習に使えるものを探らせる。

展開 …… 本時の問題（**教科書問題**）を扱うときのポイント

教科書に表記されている内容

可能な限り簡潔・明瞭・的確な表現・処理に向かおうとする意識で解決する。

数理の発見

数理の証明

数理の応用

数理の協定

一般化・抽象化

- より簡潔、より明瞭、よりの確な表現・処理方法へと高めていく活動
- 既習内容と意味付け・関係付けを行いながら統合していく活動
- 解決した内容の意味を深め、広める活動
- 解決方法のよさを証明する活動 等々

数理の獲得

学んだ価値(算数のよさ)を感じさせる。

活用 …… 本時の問題（教科書問題）を **解決した後**の活動

- 数体系の中で、獲得した知識・技能等を確認・活用する活動
- 日常生活の中で、獲得した知識・技能等を活用する活動